



ふたまただより

夏休み前号

令和4年 7月20日

市川市立二俣小学校

校長 川名 弘則

梅雨明けしたはずなのに、梅雨のように雨ばかりで、本格的な夏到来を感じさせない天気が続いています。早く夏らしくなってほしいと思います。(猛暑は辛いですが…)

いよいよ明日から夏休みを迎えます。新型コロナウイルスも第7波の様相を呈し、感染が広がっています。感染防止対策と熱中症対策をしっかりと行っていただき、この長期の休業を乗り多いものにしていただければと思います。そして、身も心も充実させて、9月に元気いっばいに登校してきてほしいと思います。

保護者と、地域の皆様には、日頃より二俣小学校の教育へのご理解とご支援ありがとうございます。休業中につきましても、子どもたちを見守っていただきますようよろしくお願いいたします。

充実した夏休みに

※朝会で、全校に向けて話しました

「夏休み」という言葉には、何か胸をワクワクさせる響きがあります。約40日間もお休みが続くのですから当然だと思います。ところが、自分が子どもだった頃の夏休みを思い出してみると、楽しかった記憶よりも、休みが終わろうとしている頃の、「あれをやらなくちゃ、これもやらなくちゃ。」と宿題に追われる日々の記憶のほうが強く思い出されます。「あ～あ、今年も夏休みが終わっちゃったよ。来年はこんなことにならないようにしよう。」という決意をします。けれども、翌年も同じことを繰り返してしまっていました。

この原因は明らかです。夏休みの初めのころは、朝はきちんと起きて、規則正しい生活をしてきたのに、だんだんとルーズになり、休みの前に計画していた学習も、一日、また一日と後回しにして、夏休みも中ごろになると、遊ぶ楽しさが勝ってしまうようになります。そういった心の弱さに原因があります。では、今の自分はそういう心の弱さが克服できたかと言うと…。休みの日でも、朝は、毎日決まった時間に起きるようにしています。しかし、やるべきことをきちんとやる心の強さを身に付けるにはもう一息というのが正直なところでは。

心の弱さを克服することは、簡単なことではありません。そこで長い休みを、充実したものにするためのアドバイスです。何か一つ、心に残るものにチャレンジしてみてください。例えば、理科の科学工夫作品や自由研究に取り組んだり、図工の工作に取り組んだりするなど形に残るものはわかりやすいかと思います。また、毎日、体力作りを続けるとか、休み中に15冊本を読むといったこともよいと思います。自分で決めて、その約束を守り、成し遂げた何か一つのことがあれば、その夏休みは充実したものとなり、何年たっても、「あの年はこれができた!」と心に残ることでしょう。ぜひ、いろいろなチャレンジをして、有意義な夏休みを過ごしてください。私は、10冊以上の本を読むことを目標とします。

ありがとうございました

4月より、養護教諭として本校に勤務しておりました佐藤遥奈ですが、勤務の期間が、8月20日で満了するため、退職となります。短い期間ではありましたが、子どもたちの健康と安全のために尽力してくれました。ありがとうございました。後任の養護教諭については、9月にお知らせいたします。

信篤三つ葉学園

信篤三つ葉学園として、令和4年度は、小中一貫教育を推進するための具体的な取り組みや指導計画、教育課程の検討を進めるとともに、できることから順次実施していきます。その取り組みについては、4月より3校合同のプロジェクト会議で話し合いを進めております。そのため令和4年度当初より3校の学校運営に変更があるものではありません。また新たな取り組みの方向や検討状況については、適宜お知らせします。

取り組みの一つとして、本日の夏休み前の会を、3校をTeamsでつないで行いました。各校の校長より、自己紹介を兼ねて、今回の合同開催の意図についての説明、夏休みの学習面について、夏休みの生活面についてそれぞれ話し、教頭、教務主任の紹介を行いました。

その他、新たな取り組みの方向や検討状況については、適宜お知らせします。

【高谷中ブロック 小中一貫型小学校・中学校】

小中一貫型小学校・中学校

信篤三つ葉学園



学園目標

「未来を見つめ、心豊かに、自分らしさが輝く児童生徒の育成」

目指す 学園像

- ・児童生徒、教職員が活力と潤いをもって活動する学園
- ・児童生徒、保護者、教職員が地域を誇りに思える学園

目指す 児童生徒像

- ・確かな学力を身につけ、共に学び合う児童生徒
- ・お互いに認め合い、助け合える児童生徒
- ・最後まで頑張り抜く児童生徒

目指す 教師像

- ・児童生徒の模範となる教職員
- ・豊かな人間力と確かな指導力を高め合う教職員
- ・チームワークを生かして協働する教職員